

年末カンパにご協力ください

ウクライナへのロシア軍事侵攻が始まってから1年9ヶ月が過ぎようとしています。依然現地は戦時下にあります。先日、ウクライナの子ども達の絵画展を開きました。戦時下にある子ども達が描いた絵を観ていると、とても心が痛みます。一日も早く戦争が終わり、心落ち着けて平和な青い空を描けるようになることを願います。国という枠を越えた市民の助け合いが平和の種になることを願いながら、ウクライナの人々に寄り添った支援を続けていく所存です。様々なものが値上がり、大変とは思いますが、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2023年11月 チェルノブイリ救援・中部



私たちが慈善活動の優先的対象としたのは、他国の同年代の子ども達とは異なり、平和な生活における多くの可能性を奪われてしまった子ども達でした。私たちは彼らの子ども時代に「彩りを添え」、それをよりよいものに変えていくことができます。また、私たちの友人である消防士やレスキュー隊員も私たちの戦時の活動の対象となりました。彼らはミサイルによる爆撃の後に瓦礫を撤去したり、人々を救助したり、戦地での地雷撤去を行ったりして、改めて自らが英雄であることを証明したのです。ー (中略) ー

ウクライナにとって困難なこの時期、遠い日本の友人たちは、またも私たちと共にいてくれたのです。私たちはそのことに本当に感謝しています。

慈善基金「チェルノブイリの人質たち」理事
イエウヘーニヤ・ドンチェヴァ

2年目に入った戦争は、幸せな子ども時代と喜びを奪い去りました。多くの子ども達は、両親がウクライナ侵略の戦いで命を落としたため、孤児となりました。空襲警報が鳴り響く時、子ども達は防空壕に改造された地下室に降りていき、そこで学校の授業を続けます。夜間に何度もキーウが爆撃される時、子ども達は親と一緒に防空壕に駆けて行かなければなりません。自宅の廊下やバスルームに身を隠す子もいます。その時、子ども達は爆発音や、撃ち落されたミサイルその他の殺傷兵器の発する閃光を恐れています。でも朝になると、いつものように皆登校するのです。それが今、ウクライナの現実の生活です。

市民団体「未来」 タマーラ・クラシツカ

* 寄付先および連絡先は、裏面をご覧ください

寄付先



- ◆ウクライナ救援基金
 - ・三菱UFJ銀行 名古屋営業部
 - 普通6949211

- ◆一般寄付
 - ・三菱UFJ銀行 高畑支店
 - 普通 1682863
 - ・郵便振替 00880-7-108610
 - <口座名義>

特定非営利活動法人チェルノブイリ救援中部
・クレジット決済によるご寄付も可能です

<http://www.chernobyl-chubu-jp.org/kes>



<http://www.chernobyl-chubu-jp.org/kes>

オンラインで
寄付をする



特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部
〒460-0012 名古屋市中区千代田 5 丁目 11-33
ST PLAZA TSURUMAI 本館 5B
TEL&FAX 052-228-6813 (月・水・金 10:00 ~ 15:00)
E-mail chqchubu@muc.biglobe.ne.jp
URL <http://www.chernobyl-chubu-jp.org>

